

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 (あう)

年 組 名前

1 次の「あう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あう」

合う

会う

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 図書館であう。 ()

② 話があう。 ()

3 二つの「あう」を使って、文を作りましょう。

合う ()

会う ()

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 (あう)

年 組 名前

1 次の「あう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あう」

合あう

- ① 集まって一つになる。
- ② ぴったり形にはまる。
- ③ 同じになる。
- ④ よくあてはまる。 つりあう。
- ⑤ 損にならない。

会あう

人と顔をあわせる。出あう。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 図書館であう。(会う)

② 話があう。(合う)

3 二つの「あう」を使って、文を作りましょう。

合う (服のサイズがぴったり合う。)

会う (私は三時に、となりのクラスの山田さんと会う約束をしている。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 2 (あける)

年 組 名前

1 次の「あける」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「あける」

空ける

- ① 空きをつくる。
- ② 使わなくする。
- ③ からにする。

明ける

人と顔をあわせる。出あう。

開ける

- ① ひらく。
- ② 始める。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①から③の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ① まどをあける。() 開ける ()
- ② あなをあける。() 空ける ()
- ③ 夜があける。() 明ける ()

3 三つの「あける」を使って、文を作りましよう。

空ける (お年寄りが立っていたので、私は座席を空けることにした。)

明ける (新しい年が明ける。)

開ける (新しい店を開ける。)

| |
|-----|
| 学 年 |
| 高 |

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 3 (あげる)

年 組 名前

1 次の「あげる」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「あげる」

上げる

挙げる

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ①授業中に手をあげる。() ()
- ②だんぼうの温度をあげる。() ()

3 二つの「あげる」を使って、文を作りましよう。

上げる ()

挙げる ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 3 (あげる)

年 組 名前

1 次の「あげる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あげる」

上げる

- ①上へやる。高くする。②高いところに移す。③値段、地位を高くする。④勢いや程度を高くする。⑤進学させる。 など

挙げる

- ①上のほうへのぼす。②取り出して示す。③全部出しきる。④式などをする。⑤つかまえる。⑥(戦い)を起こす。

2

1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に「線部の漢字と送りかなを書きましよう。

- ①授業中に手をあげる。(挙げる) ②だんぼうの温度をあげる。(上げる)

3 三つの「あげる」を使って、文を作りましよう。

上げる (兄はどんどん歩く速度を上げた。)

挙げる (田中さんが、参考となる例をいくつか挙げた。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 4 (あつい)

年 組 名前

1 次の「あつい」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「あつい」

厚い

暑い

熱い

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～③の () に一線部の漢字と送りかなを書きましよう。

- ①あついお茶を飲む。() () () ()
- ②ぶあつい参考書を読む。() () () ()
- ③真夏はあつい。() () () ()

3 三つの「あつい」を使って、文を作りましよう。

厚い ()

暑い ()

熱い ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 4 (あつい)

年 組 名前

1 次の「あつい」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あつい」

厚い

①物の表とうらとのはばがあるようす。②心がこもっているようす。

暑い

空気の温度が高いようす。

熱い

①物の温度が高いようす。②感動しているようす。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①～③の()に―線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ①あついお茶を飲む。(熱い)
- ②ぶあつい参考書を読む。(厚い)
- ③真夏はあつい。(暑い)

3 三つの「あつい」を使って、文を作りましよう。

厚い (田中さんは、いつも厚い本を読んでいる。)

暑い (この教室は、とても暑い。)

熱い (ぼくは、熱いお湯をわかつて、ラーメンをつくった。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう5 (あやまる)

年 組 名前

1 次の「あやまる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あやまる」

誤る

謝る

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 友だちにあやまる。() ()

② 方法をあやまる。() ()

3 二つの「あやまる」を使って、文を作りましょう。

誤る

()

()

謝る

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう5 (あやまる)

年 組 名前

1 次の「あやまる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「あやまる」

誤る

(行動や判断などを) まちがえる。

謝る

ゆるしてくださいとお願いする。わびる。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①友だちにあやまる。() 謝る ()

②方法をあやまる。() 誤る ()

3 二つの「あやまる」を使って、文を作りましょう。

誤る (私たちの班は、実験の方法を誤った。)

謝る (ぼくは、けんかした山本さんに謝った。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 6 (あらかわす)

年 組 名前

1 次の「あらかわす」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「あらかわす」

表す

気持ちや考えなどを、ことばや表情に出したり、絵や音楽などにしたりする。

現す

かくれていたものが、その姿や形を見えるようにする。

著す

本を書いて世に出す。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～③の()に―線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ① 正体^をあらかわす。(現す)
- ② 作品^をあらかわす。(著す)
- ③ 図^にあらかわす。(表す)

3 三つの「あらかわす」を使って、文を作りましよう。

表す (ぼくたちは、先生への感謝の気持ちを言葉で表すことにした。)

現す (巨大なコイが、ついにすがたを現す。)

著す (ぼくのおじさんは、調査したことを本に著す仕事をしている。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 7 (うつす)

年 組 名前

1 次の「うつす」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「うつす」

写す

① 下の字や絵などを、なぞって書く。または、見ながらそのとおりに書き取る。② 写真にとる。

映す

① 物の形や色を、ほかのものの表面に表す。② 映画やスライドを、スクリーンの上に表す。

移す

① 場所を変える。② ものごとを進める。③ 感染させる。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①～③の()に―線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ① 場所をうつす。(移す) ② 写真をうつす。(写す) ③ 映画をうつす。(映す)

3 三つの「うつす」を使って、文を作りましよう。

写す (ぼくたちは、黒板に書いてあることを、ノートに写した。)

映す (わたしは、かがみに自分のすがたを映した。)

移す (ぼくは、新しいつくえを自分の部屋に移した。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 8 (おう)

年 組 名前

1 次の「おう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「おう」

追う

負う

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①責任をおう。() ()

②前の車をおう。() ()

3 二つの「おう」を使って、文を作りましょう。

追う

()

()

負う

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 8 (おう)

年 組 名前

1 次の「おう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「おう」

①先に進む人や物のところへ、行き着こうとする。②無理にほかの場所に行かせる。

追う

負う

①背中にのせる。背負う。②引き受ける。③受ける など

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①責任をおう。(負う)

②前の車をおう。(追う)

3 ニつの「おう」を使って、文を作りましょう。

追う (少年が牧場の牛を追う。)

負う (小さい子どもが熱湯でやけどを負う。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 9 (おさめる)

年 組 名前

1 次の「おさめる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「おさめる」

収める

①中に入れる。②手に入れる。③よい結果を生み出す。

治める

①おだやかにする。②政治をする。

修める

①心や行いを正しくする。②学問や、わざなどを勉強する。

納める

お金や品物が、相手にきちんとわたされる。②役目や地位に落ち着く。

2

1で調べた意味をもとにして、次の①～④の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

② 品物をおさめる。(納める)

② 国をおさめる。(治める)

③ 利益をおさめる。(収める)

④ 身をおさめる。(修める)

3

四つの「おさめる」を使って、文を作りましょう。

収める (田中選手が、オリンピックで勝利を収めた。)

治める (国王が、国どうしの争いを治めた。)

修める (わたしの兄は、大学で学問を修めた。)

納める (ぼくの母は、きのう銀行で税金を納めたそうだ。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 10 (かう)

年 組 名前

① 次の「かう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「かう」

買う

飼う

② ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① おかしをかう。() ()

② 犬をかう。() ()

③ 二つの「かう」を使って、文を作りましょう。

買う ()

飼う ()

() ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 10 (かう)

年 組 名前

1 次の「かう」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「かう」

買う

①お金をはらって、品物を自分のものにする。②よいところを認める。③自分から進んで引き受ける。④受ける。

飼う

動物にえさをあたえて育てる。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①おかしをかう。() 買う

②犬をかう。() 飼う

3 二つの「かう」を使って、文を作りましょう。

買う () ぼくは、本屋で漢和辞典を買う。

飼う () 家で小鳥を飼うために、鳥かごとえさを用意した。

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 1 (かえる)

年 組 名前

1 次の「かえる」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「かえる」

返る

帰る

代える

変える

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～④の()に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

③ 家にかえる。() ② ピッチャーをかえる。() ③ 形をかえる。()

④ 貸していた本がかえる。()

3 四つの「かえる」を使って、文を作りましよう。

返る ()

帰る ()

代える ()

変える ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 1 (かえる)

年 組 名前

1 次の「かえる」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「かえる」

返る

①ものとの所や持ち主にもどる。②もとのようすになる。③はたらきかけに返事がある。 など。

帰る

①もといた場所へもどる。②去る。

代える

あるものに、ほかのものの役目をさせる。代わりをさせる。

変える

前とちがったようにする。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～④の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

- ④ 家にかえる。(帰る)
- ② ピッチャーをかえる。(代える)
- ③ 形をかえる。(変える)
- ④ 貸していた本がかえる。(返る)

3 四つの「かえる」を使って、文を作りましよう。

返る (給食のおぼんがひっくり返った。)

帰る (チャイムがなったので、みんなは教室に帰った。)

代える (バッターを田中選手に代えたら、ホームランを打って逆転勝ちした。)

変える (私は、とちゅうで考え方を変えることにした。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 2 (かく)

年 組 名前

1 次の「かく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「かく」

欠く

書く

Two vertical rectangular boxes for writing answers to question 1.

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① バランスをかく。() ()

② 漢字をかく。() ()

3 二つの「かく」を使って、文を作りましょう。

欠く

()

()

書く

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 1 2 (かく)

年 組 名前

1 次の「かく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「かく」

欠く

①物の一部分をこわす。②必要なものが足りない。③ぬかす。

書く

①紙などに、字や線などを記す。②文章をつくる。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に1線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①バランスをかく。() 欠く ()

②漢字をかく。() 書く ()

3 ニつの「かく」を使って、文を作りましょう。

欠く () ぼくたちのチームは、大事なメンバーを欠くことになった。

書く () わたしは、毎日1ページの日記を書くことにした。

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 13 (きく)

年 組 名前

1 次の「きく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「きく」

効く

聞く

Two vertical rectangular boxes for writing answers to question 1.

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りかなを書きましょう。

①話をきく。() ()

②薬がきく。() ()

3 二つの「きく」を使って、文を作りましょう。

効く

()

()

聞く

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 13 (きく)

年 組 名前

1 次の「きく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「きく」

効く

何かをしただけの効果がある。

聞く

①声や音などを、耳に感じ取る。②たずねる。③聞き入れる。許す。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①話をきく。() 聞く ()

②薬がきく。() 効く ()

3 二つの「きく」を使って、文を作りましょう。

効く () このかぜ薬は、よく効く。

聞く () ぼくは、先生のおもしろい話を聞くのがすきだ。

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 14 (きる)

年 組 名前

1 次の「きる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「きる」

切る

着る

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 口火をきる。() ()

② セーターをきる。() ()

3 二つの「きる」を使って、文を作りましょう。

切る

()

()

着る

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 14 (きる)

年 組 名前

1 次の「きる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「きる」

切る

- ① 刃物などで、さいたり傷をつけたりする。
- ② 分ける。はなす。
- ③ 水けをなくす。
- ④ 札を交ぜる。
- ⑤ 終わる。
- ⑥ 期限をつける。
- ⑦ 下回る。 など。

着る

- ① 身につける。
- ② 身に受ける。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 口火をきる。() 切る ()

② セーターをきる。() 着る ()

3 二つの「きる」を使って、文を作りましょう。

切る (暑くなったので、ぼくはかみの毛を短く切ることにした。)

着る (兄にもらったコートを着ると、ぼくは少し大人になったような気がした。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 15 (さます)

年 組 名前

① 次の「さます」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「さます」

冷ます

覚ます

② ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

① 目をさます。() ()

② ふうふんをさます。() ()

③ 二つの「さます」を使って、文を作りましよう。

冷ます ()

覚ます ()

() ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 15 (さます)

年 組 名前

1 次の「さます」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「さます」

冷ます

①冷たくする。冷やす。②落ち着かせる。

覚ます

①目をあけて、心のはたらきをはっきりさせる。②正気に返らせる。

2

1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①目をさまます。() 覚ます ()

②こうふんをさまます。() 冷ます ()

3 二つの「さます」を使って、文を作りましょう。

冷ます

(私はねこじたなので、いつもお茶をゆっくり冷ましてから飲んでいる。)

覚ます

(赤ちゃんが目を覚ますといけないので、ぼくは部屋をそっと歩いた。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 16 (すむ)

年 組 名前

1 次の「すむ」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「すむ」

住む

済む

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 気がすむ。() ()

② 大阪にすむ。() ()

3 二つの「すむ」を使って、文を作りましょう。

住む

()

()

済む

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 16 (すむ)

年 組 名前

1 次の「すむ」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「すむ」

住む

いるところを決めて生活する。

済む

①終わる。②決まる。解決する。③安心する。④申し訳がたつ。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①気がすむ。() 済む ()

②大阪にすむ。() 住む ()

3 二つの「すむ」を使って、文を作りましょう。

住む (中川さんとぼくは、同じマンションに住んでいる。)

済む (たくさんあった宿題が済んだ。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 17 (つく)

年 組 名前

1 次の「つく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つく」

つく

つく

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 駅につく。

() ()

② 気がつく。

() ()

3 ニつの「つく」を使って、文を作りましょう。

つく

()

()

つく

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 17 (つく)

年 組 名前

1 次の「つく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つく」

つく

- ①ものがくつつく。
- ②つきさそう。
- ③加わる。
- ④決まる。
- ⑤草木がかれずに根をおろす。
- ⑥感じる。など。

着く

- ①届く。
- ②すわる。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に1線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 駅につく。

() 着く ()

② 気がつく。

() 付く ()

3 二つの「つく」を使って、文を作りましょう。

つく (お気に入りのセーターに、よごれが付く。)

着く (ぼくたちは、三時に大阪に着く飛行機にのった。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 18 (つける)

年 組 名前

1 次の「つける」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「つける」

付ける

着ける

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

① 気をつける。 () ()

② 服を身につける。 () ()

3 二つの「つける」を使って、文を作りましよう。

付ける ()

()

着ける ()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 18 (つける)

年 組 名前

1 次の「つける」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つける」

付ける

- ① 物がはなれないようにする。
- ② しるしを残す。
- ③ 書きこむ。
- ④ 加える。
- ⑤ そつとあとをついて行く。
- ⑥ ものごとを改める。など。

着ける

- ① 体にまとう。着る。
- ② ある場所に寄せる。
- ③ ある場所に座らせる。
- ④ とりかかる。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 気をつける。() 付ける ()

② 服を身につける。() 着ける ()

3 二つの「つける」を使って、文を作りましょう。

付ける (私は、プレゼントにリボンを付けた。)

着ける (ぼくの熱が下がって、母はようやく仕事に手を着けられるようになった。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 19 (つとめる)

年 組 名前

1 次の「つとめる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つとめる」

努める

務める

勤める

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～③の () に一線部の漢字と送りかなを書きましょう。

- ① 主役をつとめる。() () () ()
- ② 会社につとめる。() () () ()
- ③ 実現につとめる。() () () ()

3 三つの「つとめる」を使って、文を作りましょう。

努める ()

務める ()

勤める ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 19 (つとめる)

年 組 名前

1 次の「つとめる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つとめる」

努める
一生けんめいにする。

務める
役目を受け持つ。

勤める
仕事場で働く。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①～③の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

- ① 主役をつとめる。() 務める ()
- ② 会社につとめる。() 勤める ()
- ③ 実現につとめる。() 努める ()

3 三つの「つとめる」を使って、文を作りましょう。

- 努める () みんなで事件の解決に努めよう。
- 務める () 司会を務めるのは、森田さんです。
- 勤める () 近くの工場に勤めるおじさんたちに、私たちはインタビューしに行った。

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう20 (とく)

年 組 名前

① 次の「とく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「とく」

解く

説く

② ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①問題をとく。

() ()

②人の道をとく。

() ()

③ 二つの「とく」を使って、文を作りましょう。

解く ()

()

説く ()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう20 (とく)

年 組 名前

1 次の「とく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「とく」

解く

- ①ほどく。
- ②正しい答えを出す。
- ③役をやめさせる。
- ④取り除く。

説く

わかるように言って聞かせる。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に1線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①問題をとく。

() 解く

②人の道をとく。

() 説く

3 二つの「とく」を使って、文を作りましょう。

解く (身近なとくもとくを解く。)

説く (新しい理論をとく。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 2 1 (つくる)

年 組 名前

① 次の「つくる」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「つくる」

作る

造る

② ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

① 酒をつくる。

() ()

② 花をつくる。

() ()

③ 二つの「つくる」を使って、文を作りましよう。

造る

()

()

作る

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 21 (つくる)

年 組 名前

1 次の「つくる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「つくる」

作る

- ① こしらえる。
- ② 形づくる。
- ③ 大きく育てる。
- ④ 田や畑を耕す。
- ⑤ わざとそのようにする。

造る

機械などを使って、大仕かけにこしらえる。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 酒をつくる。

() 造る ()

② 花をつくる。

() 作る ()

3 二つの「つくる」を使って、文を作りましょう。

造る (わたしの父は、ごうか客船を造る会社につとめている。

()

作る (父が、うでによりをかけておいしい料理を作る。

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 2 2 (なく)

年 組 名前

1 次の「なく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「なく」

泣く

鳴く

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① こおろぎがなく。() () ()

② 妹がなく。() () ()

3 二つの「なく」を使って、文を作りましょう。

泣く

()

()

鳴く

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 2 2 (なく)

年 組 名前

1 次の「なく」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「なく」

泣く

悲しさや苦しさを心に強く感じて、なみだを流す。

鳴く

鳥、虫、けものなどが、声を出したり、羽をすりあわせて音を出したりする。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①こおろぎがなく。() 鳴く ()

②妹がなく。() 泣く ()

3 二つの「なく」を使って、文を作りましょう。

泣く () 赤ちゃんが大声で泣く。

鳴く () 山でうぐいすが鳴く。

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 2 3 (のぼる)

年 組 名前

① 次の「のぼる」の意味を国語辞典で調べて書きましよう。

「のぼる」

上る

登る

② ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましよう。

① 話題にのぼる。() ()

② 山をのぼる。() ()

③ 二つの「のぼる」を使って、文を作りましよう。

上る

()

()

登る

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 23 (のぼる)

年 組 名前

1 次の「のぼる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「のぼる」

上る

①上のほうへ行く。②川の上流へ進む。③地方から都へ行く。④地位が高くなる。⑤数や量が、あるところまで達する。⑥取り上げられる。

登る

高い所へ行く。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①話題にのぼる。() 上る ()

②山をのぼる。() 登る ()

3 二つの「のぼる」を使って、文を作りましょう。

上る (ぼくたちは、船で川を上った。)

登る (妹が公園の木に登った。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 24 (はなす)

年 組 名前

1 次の「はなす」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「はなす」

放す

話す

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

① 考えをはなす () ()

② 鳥をはなす () ()

3 二つの「はなす」を使って、文を作りましょう。

放す

()

()

話す

()

()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 24 (はなす)

年 組 名前

1 次の「はなす」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「はなす」

放す

- ①自由にしてやる。
- ②つかんでいたのをやめる。
- ③そのままにしておく。

話す

- ①言う。しゃべる。
- ②意見を出し合う。相談する。

2 ①で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①考えをはなす。() 話す ()

②鳥をはなす。() 放す ()

3 二つの「はなす」を使って、文を作りましょう。

放す (ぼくは、川にコイを放す行事に参加した。)

話す (わたしは、友だちと話すことが好きだ。)

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 25 (やぶれる)

年 組 名前

1 次の「やぶれる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「やぶれる」

破れる

敗れる

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の () に一線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①カーテンがやぶれる。 ()

②試合にやぶれる。 ()

3 二つの「やぶれる」を使って、文を作りましょう。

破れる ()

敗れる ()

() ()

学 年
高

同じ読み方の言葉を使って文を作ろう 25 (やぶれる)

年 組 名前

1 次の「やぶれる」の意味を国語辞典で調べて書きましょう。

「やぶれる」

破れる

①引きさける。やぶける。②こわれる。③ものごとが成り立たないで終わる。

敗れる

戦いなどに、負ける。

2 1で調べた意味をもとにして、次の①、②の()に―線部の漢字と送りがなを書きましょう。

①カーテンがやぶれる。() 破れる ()

②試合にやぶれる。() 敗れる ()

3 二つの「やぶれる」を使って、文を作りましょう。

破れる(四才の妹には、ツルを折るのは難しいようで、折り紙が何回も破れてしまった。)

敗れる(ドッジボール大会の決勝戦で、ぼくたちのクラスは、おしくも敗れてしまった。)

